

# 自然の家だより

令和6年  
7月27日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: http://www.mirai.ne.jp/gishizen/

夏休みになると、虫捕りに出かける方もいるのではないのでしょうか。  
そして、虫捕りといえば、人気の「カブトムシ」。6月中旬～7月になると地上に姿を現しますが、今回はカブトムシの一生や成虫になる前の姿について紹介します。



## カブトムシの一生

ふゆ 冬		はる 春			なつ 夏			あき 秋			ふゆ 冬
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
幼虫				前蛹	蛹	成虫	卵	幼虫			

カブトムシは、「卵→幼虫→前蛹→蛹→成虫」といったライフサイクルを約1年で行います。  
幼虫の期間は約8か月ですが、みなさんが見かける成虫の姿は、約1～2か月だけです。

## カブトムシの姿

<p><b>卵</b></p> <p>1匹のメスは約100個の卵を産むことができると言われています。約2週間で幼虫になります。</p>	<p><b>幼虫</b></p> <p>幼虫は腐葉土などを食べて成長します。脱皮を2回し、蛹の前段階である前蛹の期間を経て、蛹へと姿を変えます。</p>	<p><b>蛹</b></p> <p>梅雨の時期に蛹になります。穴の中でじっと過ごします。</p>	<p><b>成虫</b></p> <p>土の中で羽化します。その後、メスは1か月から2か月の間に産卵の準備をします。</p>
---	--	---	--

みなさんも、オスとメスのカブトムシの成虫を育てて、卵から幼虫、蛹、成虫へと変化していくカブトムシを観察してみませんか。夏休み期間にカブトムシを捕りに行ってもいいですし、ホームセンターなどでも販売しています。

飼育するケースは、通気性がよく、十分広いスペースがあるものを用意してください。

カブトムシの飼育は、自然や生命の大切さを実感できる貴重な体験です。ぜひ挑戦してみてください。